市民ひろば

発行人　市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32　小出ビル3F
代表　小野　啓一
電話：055-994-9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替　00870-5-153264
市民ひろば

ひろば新聞定期購読者募集
毎月3000部　年額1000円

新年のごあいさつ

迎春

心は社会の設計図

不治の病？

ガンは治る病気だということをご存知だろうか。（例えば安保徹、アメリカＯＴＡレポート１９９０、ガンの患者学研究所、統合医学医師の会など）

海海岸の日の出

世の中には不治の病という認識がいまだに定着しているが、治らないのは西洋医学(三大療法) の場合で、たしかにその予測はよく当たる。例えば余命５か月とガンを宣告されて、その通り亡くなる人がなんと多いことか。それは、医師の宣告が潜在意識に働いてその虜になってしまうからだそうだ。

現に自然退縮と言って、医院での治療無しに自然治癒している人々がいる。放置していて治るということではなく、それなりに他の方法とくに古来伝えられてきた様々な手当など努力の賜である。ただ、医師はそういう例を全く見ていないから、治るということがもっとも信じられない職業なのである。

ピンチをチャンスに！

２０１６年の予測は、概して暗い。すでに憲法改正の必要議席３分の２を上回る結果を自民単独で確保するというらない（世論調査）なども出ている。その先は憲法で守られてきた人権や民主主義、平和主義が崩壊するというのだ。

ところで、上記のガンを克服した人々がその理由として「からだは心の設計図」と言うことがある。医師の宣告に負けずに、ガンは治ると心から信じることによって潜在意識を跳ね返したという意味である。

社会についても同じことが言えるのではないだろうか。戦争体験者らの悲観的な警告が蔓延して戦前の暗黒時代が繰り返される恐れ。それは警告として意味があり、それを乗り越えるのは社会の意識である。ひとりひとりの心がそれを作り構成する。

75年前の日本とは違う個の主張、国際化等々、若いひとたちの意識に明るい兆しがあるのではないか。とりわけ戦争のできる国へという危惧が、今多数の人々を動かしている。

自衛隊の海外派遣

国際貢献をいうなら、日本でなければできないことを行うこと。これに尽きる。我が国の自衛隊の特筆すべき性能と言えば、何といっても自然災害への対応だ。場数を踏んでいるし、技術的備えも他国に負けないだろう。せっせと海外へ派遣しよう。世界の救急隊として評価が上がれば、我が国に対する期待と感謝の念は自然にアップし、だれもが戦闘相手などと考えなくなるだろう。幸い自衛軍などと軍隊を名乗ってはいないので、自衛隊という名前もそのままでいい。これこそ最大の自衛組織、安全保障と言えるではないか。

日本が国と国、人と人との争いに介入する必要はない。日本でなければできないような救出や復興の手伝いこそが、国際社会から期待されているのである。今後ますます天変地異も予測される。

この場合、武器等はほとんど必要ないので自衛隊は武装解除する。戦闘機や艦船など不要となり、膨大な経費が節約できる。

仮にこの政策に反対する政治家等がいるとすれば、その本音は国を守ることではない、ということだ。これを国政選挙候補者への踏絵とできないものだろうか。

とにかく、そんなことできるわけがないと思っている限り実現はしないのだ。〈Ｒ〉

書きとめる　２

浅野

冬の時代またくる予感す声高く
勝者のごという「一億総活躍社会」

テロリストのかなしきを詠う啄木
を今また憶う金曜日のパリ

＊冷めたるココアの一匙を啜りてわれは知る
テロリストのかなしきを〈石川啄木〉

裸の王様

消防の広域化問題

三島市の消防は戦後70年間ずっと自らの力で市民の安全を守ってきた。

裾野市・長泉町との広域合併は、突如として平成26年5月に市長の記者会見という形で発表された。平成26年12月、議員説明会が行われ、議員側からかなり厳しい質問がされるも当局の回答は不明確のまま。その後も市民への説明はなく、平成27年10月下旬の静岡新聞報道により突然消防の広域化を知ることになったのである。

私たちは10月下旬から４回集会を開き、当局に出席を求めたが一度も来てはもらえなかった。消防長に直接説明を求めても、一般市民に対する説明会は開催されなかった。市当局の自治会長に対する説明会開催や、回覧板等は、再三にわたる市民への説明を求めた私たちの活動の成果であるとも言える。どう考えても三島市民の財政負担も多くなり、当局のいう「スケールメリット」の具体的根拠が見えない。しかも北上分遣所廃止問題と、中郷分遣所の手当の明文化をした上での広域化でなければ、市民の安全は守られないこともわかってきた。

市当局が市民への説明をし市民がこれらのデメリットを知ったとしても、広域化組合に移行してしまうと三島市民の要望は通らなくなってしまう。そこで、消防広域化組合を実施するための条例が決まってしまう11月議会に、署名を付けた請願を提出した。紹介議員は４名、署名はごく短期間で１０００筆も集まり、市民の関心の高さを物語っていた。請願はまず総務委員会に付託され、同委員会では請願提出者の意見陳述があり、下山議員が理路整然と陳述するも、私たちを納得させるような回答のないまま結果は不採択。12月10日の11月議会最終日、議長不信任動議が出たり何度も議会が中断するなど議会が紛糾する中、広域化組合の成立が採決され、賛成15、反対５、棄権１で請願は不採択となった。

議会では、市民への情報開示が不充分であったことを認め、市民への広報をするよう付帯決議がされた。この付帯決議によって、三島市民が消防の広域化問題を認識し声をあげることを願うものだ。

消防の広域化問題は新聞やTVでも取り上げられた。

市は11月市議会で消防組合設立条例が可決されたのち、説明を渋っていた消防広域化の内容を1月1日号の三島市の広報に1ページにわたって告知した。

決定してからでなければ市民に告知せず意見も聞こうとしない行政、そのような市当局の方向に迎合した市議会の決議を私たちは忘れない。それは付帯決議をしたことで許される問題ではない　〈Ｊ〉

２月10日の本会議の映像は左のアドレスで見ることができる（２０１６年１月６日現在）
http://smart.discussvision.net/smart/tenant/mishima/WebView/list.html

---

日本の行方を占う参院選の動向

安倍政権が憲法改正に必要な三分の二の議席を確保するかどうか、夏の参院選への関心が高まっています。

戦後体制からの脱却、美しい日本を取り戻すとのキャッチフレーズで第二次安倍政権が発足して丸３年が経過しました。

第二次安倍政権のその後の性格は、従来の自民党政権には見られなかった強引とも見れる手法が際立っています。この間、武器輸出三原則の撤廃、NHKやマスコミへの介入、消費税増税、原発再稼働、集団的自衛権容認、辺野古基地建設強硬等々と日本の政治状況は憲法が蔑ろにされ、驚くほどの速さで強権化・右傾化に突き進んでいるように思えます。

民主党政権の崩壊以来、野党勢力は結集軸を失い、小党乱立のまま安倍政権の暴走を停止させる力にはなり得ていません。国政選挙において自公政権は直近３回連続して勝ち続けており夏の参院選においても、全野党が統一して臨まなければ、この流れを変えること難しいと予想されます。

また安倍政権は、18年４月の消費税率アップの前に衆院選を実施しようと、来年７月の参院選を衆参同日選挙とするのではと噂されています。

多くの国民から”野党共闘”の声が高まっていますが、それぞれの政党間の思惑があり、未だその動きは実現していません。当面、32の一人区での共闘体制ですが、まだ２、３の選挙区での一本化が実現しているだけです。比例区における統一名簿での共闘体制は全く手付かずの状況です。

静岡選挙区は二人区で、従来は有力候補の自民、民主が議席を分け合う、盛り上がりを欠く選挙でした。

今回も現状では自民・岩井、民主・平山、共産・鈴木、幸福・江頭で、従来パターンになりそうです。

ここで、政権側から新しい候補が出なければ、共産党とも調整し、市民運動と一体となった安倍政権に反対する新しい候補者の出現が可能ではないか。

自民、民主で分け合う議席に割り込んで、三つ巴の選挙戦が展開できれば、盛り上がった選挙になるのではと考えるが、その可能性は無いのだろうか。運動の盛り上がりと、候補者探しが急務となるが・・・〈Ｈ〉

百千鳥

皆さんは「ミシマ」という名がつく植物が三つあるのをご存知ですか？一つは皆さんご存知の「ミシマザクラ」です。ゆるキャラの「みしまるこちゃん」にデザインされた桜です。「ミシマバイカモ」もあります。▼「ミシマバイカモ」は昭和30年代、湧水の枯渇により一度三島からなくなりましたが、幸い隣の清水町の柿田川で自生していた株をもらってきて有志の努力で源兵衛川をはじめ各所で見ることが出来るようになりました。三つ目は「ミシマサイコ」です。▼ミシマサイコは本州から四国・九州の日当たりの良い山野に自生する多年草で、環境省の絶滅危惧種に指定されています。根は生薬で柴胡（さいこ）といい、解熱、鎮痛、解毒として抗炎症、肝臓などの漢方治療に配合されます。つまり、「みしま」という名がついた、絶滅危惧種に指定されている薬草で江戸時代、三島に良質の柴胡が集荷されたことからミシマサイコと名付けられたと言われています。黄色いかすみ草のような小さな花をつけ、観賞用に生け花などの素材としても使われてきました。しかし、近年乱獲のため山野に自生しているミシマサイコはごくわずかでほとんど絶滅し、幻の薬草と言われています。しかし、今「ミシマサイコの会」の方々が毎年種まきを行い、エコセンターなどで見ることができます。▼多くの方々に「ミシマバイカモ」だけでなく、絶滅の危機にある「三島」という名が付く、歴史的にも貴重な「ミシマサイコ」を知ってもらい、川や野山にそれらの貴重な生物の生育できる自然環境を後世に残していきたいものです。〈Ｍｈ〉

3.11 福島震災５周年企画

「日本と原発　４年後」上映会

～新垣隆の生演奏付き～

３月５日(土)午後

会場　三島市民文化会館小ホール

新垣隆：この映画のために、交響曲第２番として「フクシマ」を作曲・指揮
(交響曲第１番が「ヒロシマ」で、佐村河内守のゴーストライターとして話題となった)

☆実行委員大募集！

連絡先:055-994-9211(市民ひろば)　shimin_hiroba@ybb.ne.jp

日本と原発
４　年　後

日本と原発
続編完成！

ただ今自主上映会募集中！

― 新しく取材にお応え頂いた方々 ―
小泉純一郎／細川護熙／近藤駿介 他
製作・監督：河合弘之
構成・監修：海渡雄一
音楽：新垣　隆
2015年／ドキュメンタリー／カラー

左の企画 広告参照
市民ひろばまでお問い合わせください

市民ひろばに遊びにきませんか？

ニュースや新聞、市の広報などを見て気になることはありませんか？

「これ知ってる？」
「こんな話を聞いたけど、どうなの？」
「近くに来たから寄ってみたよ！」

市民ひろばは、皆が自由に集まれる場所
お気軽にお越しください！

[開室日]毎週　月・木・土・日
10:00～15:00（原則）

平和を考える講演会 (無料)

「集団的自衛権と日本Ｑ外交を考える」

講師：孫崎享氏

２０１６年1月３１日（日）
１３:４５開演（１３：１５開場）

会場 伊豆の国市
韮山時代劇場 大ホール
伊豆箱根鉄道韮山駅下車
東口徒歩２分
駐車場台数制限あり、
電車･バスをご利用下さい。

主催:「戦争させない！平和講演会」実行委員会
連絡先:堀内(0558-76-0460)高橋(055-947-0718)